

<b>1 年生</b>  <b>児童 7 名</b> (男子3名 女子4名)	平成29年10月5日(木) 13:30~14:15	1年生教室
	<<算数科学習指導案>> <b>単元名：3つのかずのたしざん ひきざん</b> (全4時間)	授業者 教諭

### 1. 単元について

本単元では、3口の数の加法、減法計算を扱い、3つの数の加法・減法の場面も1つの式として表すことができることや、その計算のしかたについて学習する。これは、今後扱う繰り上がりのある加法や繰り下がりのある減法計算のしかたを考える過程で必要となる大切な内容である。そのため、3口の数の計算の式の意味や計算のしかたを丁寧に扱い、以後の計算に生かせるようにしておきたい。

### 2. 児童について

(削除)

### 3. 単元の目標・評価規準

(目標) ○3口の数の加法、減法および加減混合の計算を1つの式にまとめて表したり、これをよんだりすることができる。 ○3口の数の加法、減法および加減混合の計算のしかたを理解する。			
関心・意欲・態度	数学的な考え方	技能	知識・理解
・3口の加法、減法および加減混合の場面を式に表すよさに気づいている。	・3口の加法、減法および加減混合の場面について、ブロックや図などを用いて考え、式に表したり計算のしかたを考えたり説明したりしている。	・3口の加法、減法および加減混合の場面を式に表して計算したり、式をよみ取ったりすることができる。	・3口の加法、減法および加減混合の場面の意味について理解している。

4. 指導計画と評価規準（全4時間）

時間	単位時間の目標	主な学習活動	評価の観点				◎具体的評価規準 ※評価方法
			関	考	技	知	
1 (本時)	・ 3口の数の加法計算について考える。	・ 場面絵を見ながら3口の加法の式に表すしかたや、その計算のしかたを考える。		○		○	◎ 3口の加法の場面や計算のしかたを、ブロックや図などを用いて考え、説明している。(考) ※ノート ◎ 3口の加法が用いられる場合を理解している。(知) ※発言
2	・ 3口の減法計算について考える。	・ 場面絵を見ながら、3口の減法の式に表すしかたや、その計算のしかたを考える。		○		○	◎ 3口の減法の場面や計算のしかたを、ブロックや図などを用いて考え、説明している。(考) ※ノート・発言 ◎ 3口の減法が用いられる場合を理解している。(知) ※ノート
3	・ 3口の数の加減混合算について考える。	・ 場面絵を見ながら、3口の加減混合の式に表すしかたや、その計算のしかたを考える。		○		○	◎ 3口の加減混合の場面や計算のしかたを、ブロックや図などを用いて考え、説明している。(考) ※ノート・発言 ◎ 3口の加減混合の計算が用いられる場合を理解している。(知) ※ノート
4	・ 3口の数の加法、減法および加減混合の計算ができる。	・ 3口の数の加法、減法および加減混合の計算をしたり、場面を式に表したりする。	○		○		◎ 3口の加法、減法および加減混合の式に表すよさについて気づいている。(関) ※ノート・発言 ◎ 3口の加法、減法および加減混合の場面を式に表して計算したり、式をよみ取ったりすることができる。(技) ※ノート

5. 板書計画

10/5

もんだい: みんなでなんひきでしょう?



かだい

けいさんのしかたを、せつめいしよう。

まとめ

3つのかずのたしざんは、まえからじゅんばんにけいさんすることができる。

しき  $3+2+4=$

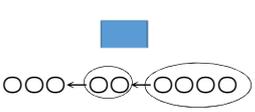
こたえ \_\_\_\_\_



$3+2=5$

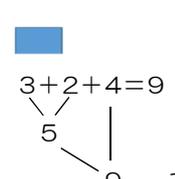
$5+4=9$

こたえ 9ひき



こたえ 9ひき

ふりかえり  
p. 91

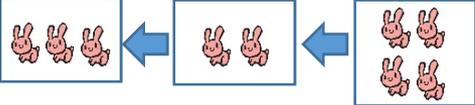
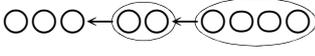
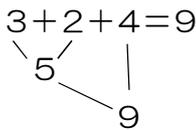


こたえ 9ひき

6. 本時の展開 ( 1 / 4 時間 )

本時の目標：3口の数の加法計算の仕方について考え，説明することができる。【数学的な考え方】

3口の数の加法計算の仕方がわかる。【知識・理解】

過程	○主な学習活動 ・予想される児童生徒の発言等	◇教師の主な働きかけ	□交流の方法 ■留意点 ※評価
導入 8分	<p>○単元のゴールを知る。 『3つのかずのたしざんやひきざんができるようになる。』</p> <p>○問題を把握し，お話作りをする。</p>  <p>・「みんなで」だからたしざんだ。 ・<math>+</math>が2つはいりそうだ。</p> <p>○立式する。 <math>3 + 2 + 4 =</math></p> <p>○課題を把握する。</p>	<p>◇単元を通してのゴールを伝え，見通しを持たせる。</p> <p>◇場面絵を提示しながらお話作りをさせ，どんな式になるのか予想させる。</p> <p>◇場面絵をもとに立式させる。</p>	<p>■場面絵からお話を作っていくことで，立式しやすくする。</p>
展開 30分	<p>かだい：けいさんのしかたをせつめいしよう。</p> <p>○個人思考（場合によってはペア交流）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="225 1070 635 1272"> <p>考え方①：式を2つにわける。</p> <math display="block">3 + 2 = 5</math> <math display="block">5 + 4 = 9</math> <p style="text-align: right;">9ひき</p> </div> <div data-bbox="655 1070 1066 1272"> <p>考え方②：具体物などを活用。</p>  <p style="text-align: right;">9ひき</p> </div> </div>		<p>■個人思考で行き詰っている児童は，隣の人の考えを参考にするなど，必要に応じてペア交流を取り入れる。</p> <p>□ペア交流 ※ノート（考）</p>
	<p>考え方③：メモ書きして計算する。</p>  <p style="text-align: right;">9ひき</p> <p>○集団解決（全体交流）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブロックや○を使うとわかりやすい。</li> <li>・じゅんばんにけいさんするといいね。</li> <li>・しきを2つかくよりも，1つにしたほうがみやすいね。</li> </ul>	<p>◇それぞれの考え方の良さや共通点を押さえ，順番に計算していくと良いことを理解させる。</p>	<p>■説明する活動を取り入れることで，理解を図ったり学習内容を深めたりする手立てとする。</p> <p>■式については，よりわかりやすくすっきりした形にまとめられるようにする。</p> <p>□全体交流 ※発言（知）</p>
終末 7分	<p>○本時のまとめ</p> <p>まとめ：3つのかずのたしざんは，まえからじゅんばんにけいさんすることができる。</p> <p>○ふりかえり (p. 91)</p>	<p>◇ふりかえりを行い，定着を図る。</p>	<p>■本時の学習を生かして，計算できるようにする。</p>

